

令和4年度 浦安市立図書館事業評価シート

評価項目	1 レファレンスサービス
------	--------------

重点課題	1 レファレンスサービスの充実、及び広報 2 地域情報に関するサービスの広報
------	---

具体的な取組内容	<p>(課題1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央図書館、及び分館におけるレファレンスサービスについて図書館ホームページやツイッターなどで広報を行う。 ・行政機関（庁内各部署）へのレファレンスサービスのPRを強化し、より効果的な広報を行い、行政支援の充実を図る。 ・職員の資質向上のため、レファレンス担当者へ研修を行う。 <p>(課題2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示やホームページ、ツイッター等を活用して、浦安に関する地域資料や行政資料のPRを行い、利用を促進する。 ・定点撮影の写真をホームページ等で公開し、地域資料のPRを図る。
----------	--

担当係	レファレンスサービス係、分館係
-----	-----------------

関連予算	レファレンスサービス事業
------	--------------

量的指標 質的指標	<p>【量的指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レファレンス調査回答数1,100件（Eレファレンスを含む：全館合計） ・ホームページやツイッターを活用したレファレンスサービス、及び地域資料のPRの実施（資料展示等も含め毎月1回以上）。 <p>【質的指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回答に対する利用者満足度について、9割以上の満足を得る。
--------------	---

令和4年度 結果 (見込み)	調査回答数									
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	年度末 見込	達成率
	中央館 調査回答	35	36	35	53	51	50	260	530	/
	分館 調査回答	48	33	40	31	23	24	199	420	/
	計	83	69	75	84	74	74	459	950	86%
満足度調査 *◎（満足）および○（どちらかといえば満足）の割合										
中央図書館 92.2%			分館 94.9%			全館 93.4%				
4～9月			4～9月			4～9月				
◎	156	57.8%	◎	111	56.3%	◎	267	57.2%		
○	93	34.4%	○	76	38.6%	○	169	36.2%		
△	15	5.6%	△	5	2.5%	△	20	4.3%		
×	6	2.2%	×	5	2.5%	×	11	2.4%		
計	270	100.0%	計	197	100.0%	計	467	100.0%		

<p>参考資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度（上半期）レファレンス事例 ・レファレンスPRツイッター事例
<p>参考数値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調査回答数（令和3年度） 中央図書館 646件、分館 338件、合計 984件 満足度調査（令和3年度中央図書館レファレンス記録より） ◎ 57.5%、○ 34.5%、△ 5.9%、× 2.1% *新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、8月30日（月）から9月30日（木）までレファレンス室を閉鎖し、中央図書館への電話及びインターネットでのみレファレンスの受付を行った。同期間中は分館はレファレンスサービスを中止した。 ・調査回答数（令和2年度） 中央図書館 572件、分館 257件、合計 829件 満足度調査（令和2年度中央図書館レファレンス記録より） ◎ 68.5%、○ 25.7%、△ 4.7%、× 1.2% *新型コロナウイルス感染防止のため、4月11日より5月19日まで、及び1月16日～3月21日まで全館が休館
<p>図書館 自己評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調査回答件数は前年度比で見ると、分館で増加となっているが、9月に感染対策を伴う利用制限によりレファレンスの受付を行っていなかったためと考えられる。中央図書館については、ほぼ横ばいとなっている。 ・市民生活のあらゆる場面において、図書館の資料や各種データベース等を活用し、さまざまな調べものに対応して好評を得ている。レファレンスの満足度調査でも、◎（大変満足）および○（どちらかといえば満足）の合計は、中央館、分館でそれぞれ90%を越える高い数値を示している。 ・今後、ホームページやツイッターの更新頻度を高くするなどして、レファレンスサービスのPRを強化し、より多くの方へサービスの周知を図っていく必要があると思われる。 <p>（課題1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館ホームページのレファレンス室だよりのコーナーで、レファレンスサービスや地域資料に関するPRを月1回以上実施した。 ・市内各部署に対し、レファレンスサービスに関するPRを市内掲示板を活用して行った。レファレンスサービスの基本的なPRのほか、毎月作成して市内各部署へ配布している「行政関係雑誌目次集」についても配布時にPRを行った。このPRにより複数の部署から行政情報に関する提供依頼があるなど、行政支援につなげることができた。 ・有料データベースのコンテンツ（日経テレコン：企業情報、人事情報）の評価を行ってレファレンス担当職員間で共有し、レファレンススキルの蓄積に努めたほか、新刊レファレンス資料受入時のチェックを継続的に行って職員の資質向上を図った。 <p>（課題2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館のホームページ上にて、浦安に関するクイズコーナー「浦安3択クイズ」を新設したほか、既設の「浦安クイズ」コーナーの更新を行い、地域資料や行政資料のPRに取り組んだ。 ・これまで図書館で蓄積してきた定点撮影写真等の地域資料をPRするために、図書館のホームページ上に『定点撮影で昭和62年の浦安へタイムトリップ！』のページを新設し、合わせてツイッターで情報発信を行って利用促進を図った。

<p>図書館協議会 委員欄</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・庁内各部署との連携は市として行政サービスの総合的な向上につながるであろうから、引き続き力を入れていただきたい。 ・分館が配置されている公民館は市民活動の基本的な場所なので、周囲の要望を聞きつつ寄与できることには対応していただきたい。 ・インターネットを利用できない高齢者が気軽に利用できるように配慮をしてほしい。 ・小中学校の生徒、教師が利用できるよう、学校へのPRも必要。 ・レファレンス担当者への研修はとてもよい。 ・毎年のレファレンス満足度90%超えは、職員の質の高さを感じる。 ・来館した際にレファレンス担当者がわかるようにしてほしい。 ・浦安クイズ、定点撮影写真など、とても面白い企画である。 ・レファレンスサービスを広く利用者に伝えるために、現行HPでの事例表現を再検討すべき。もう少し優しい子ども相談室的な質問も設定し、図書館利用初歩の方も気軽に相談できるようにしてほしい。 ・市民に情報を届けるには、市のLINEアカウントやInstagram、図書館専用アプリなどを用いた情報発信は、より有効な手段だと思う。 ・ホームページやツイッターでは幅広い世代への広報になりにくいので、地域の新聞など紙ベースのものでもぜひ広めてほしい。
-----------------------	--

<p>改善の 方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・庁内各部署のほか、公民館イベントに対応したレファレンスサービスにも積極的に取り組んでいく。 ・レファレンスサービスのPRについては、多くの市民に広く周知して気軽に利用してもらう観点から、チラシやミニコミ誌等の紙媒体によるPRを強化する。 ・市内小・中学校の司書を通して、教師や児童・生徒へのレファレンスサービスのPRに取り組んでいく。 ・職員のレファレンス能力を高めるため、引き続き研修に取り組んでいく。 ・「浦安クイズ」や、定点撮影写真の公開等、地域資料の利用促進として引き続き取り組んでいく。 ・ホームページで紹介するレファレンス事例については、親しみやすい事例や紹介方法について、検討する。 ・市のLINEアカウントやInstagram等、多岐にわたるSNSを活用したPRについては、今後の検討課題とする。
--------------------	---

<p>図書館 自己評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者サービス登録者数、資料の貸出ともに、目標値にはやや及ばない見込みとなった。 ・今後、さらに本サービスを知ってもらうための館内展示や情報発信など、PRを工夫していく必要がある。 ・対面朗読については、目標の89%の見込みである。これは1名が利用者都合のため年度内休止となったため、当初の見込みより減となったことによる。実施方法については、利用者の希望に配慮し、読み上げる資料はリクエストに対応している。 ・障がい者サービス資料の製作については、予定していた製作数を上回るリクエストがあった。 ・宅配での資料の受渡しは、利用者に希望を聞き、状況に応じて対応した。 ・引き続き障がい者サービスのマニュアルの整備を進め、年度末までに完了する予定である。 ・LLブック、大活字本を収集、整備し、令和3年度に製作したデジ資料等の整備に取り組んだ。今後も目録の配置や展示等を行い、PRに取り組んでいく。 ・障がい福祉課、高齢者福祉課等の関連課と相談し、どのような連携が必要か検討を進めていく。 ・現在策定が進んでいる千葉県読書バリアフリー推進計画（案）について、今後の動向を踏まえて、本市の障がい者サービスの計画策定に向け、取り組んでいく。
<p>図書館協議会 委員欄</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・充実した取り組みが実施されていると考える。今後策定を予定する計画にも期待している。 ・「読書バリアフリー推進計画」、「障がい者サービスマニュアル」の策定に取り組んでいることを評価する。 ・障がい者サービスが地道に着実に行われていることを高く評価する。市立図書館でこれだけのサービスを行っている図書館はそれほど多くないと思う。 ・重要課題として取り組んでいるのだから、HPをはじめ館内での常設掲示や常備リーフレットなどで、取り組んでいる組織体制や実行内容を明らかにするべき。 ・利用者を増やすためのPR活動に一層取り組んでほしい。 ・障がい者、外出が困難な高齢者へのPRが必要。障がい者や高齢者が参加しなくなるような集会事業を考えてほしい。 ・図書館HPを見ると、障がい者サービスとして様々なサービスを行っているのが分かるが、今回の評価では取り組みの大部分が視覚障がい者が対象になっている。タイトル等に「主に視覚障がい者へのサービス」である旨の注記を入れたらどうか？ ・参考資料の中に、浦安市の障がい者数、量的指標のなかに、録音図書（音訳図書）の貸出数、また他機関からの借受数、他機関への貸出数を入れてほしい。
<p>改善の 方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、障がい者の利用に配慮したサービスを継続し、「読書バリアフリー推進計画」の策定に取り組んでいく。 ・サービスの取り組みについて、図書館ホームページ等で発信していく。また利用案内（リーフレット）についても、図書館ホームページで閲覧できるように取り組んでいく。 ・市役所窓口（社会福祉課、障がい福祉課）や、福祉施設等への障がい者サービス利用案内の設置をとおして、利用の周知を図っていく。今後も障がい事業課をはじめ、関係各課との連携の強化に継続的に取り組んでいく。 ・集会事業については、今後ニーズの把握や実施方法の検討等を行っていく。 ・視覚に障がいがある方だけでなく、図書館利用が困難な方に対し、それぞれの障がいに配慮した取り組みを継続していく。 ・障がい者サービスの参考資料として、市の障がい者数や障がい者用資料の貸出数等の数値を入れるよう検討する。

令和4年度 浦安市立図書館事業評価シート

評価項目	3	子ども読書活動の推進																							
重点課題	1 子どもの読書環境の充実 2 子どもと読書を結びつける他機関との連携																								
具体的な取組内容	(課題1) ・お薦めの絵本やテーマ別資料の紹介等、館内展示や図書館ホームページ・ツイッターでの情報発信の充実を図る ・読書通帳の利用促進 ・各種集会事業や推薦図書リストを通し、子どもと子どもに関わる大人への読書支援の充実を図る ・職務経験に応じた職員研修を実施し、継続的な人材育成に取り組む (課題2) ・新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、安全に配慮した集会事業を行う ・子どもたちが読書を楽しむことを進めるため、おさんぽ来館やよみきかせ、えほんのじかんなどの機会を充実させる ・学校と連携した調べ学習等の支援に取り組む																								
担当係	児童・地域支援サービス係、分館係																								
関連予算	児童サービス事業																								
量的指標 質的指標	【量的指標】 ・児童関連集会事業の参加者数 延2,700人 ・資料相談件数 900件 *児童カウンターでの数値。他は一般と児童の合計数となるため、含まない。 ・読書通帳登録件数(小中学生) 1,000件																								
令和4年度 結果 (見込み)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 15%;">4~9月</th> <th style="width: 15%;">一か月当たり</th> <th style="width: 20%;">年度末見込値</th> <th style="width: 15%;">達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童関連集会事業の参加者数</td> <td>2,143</td> <td>357</td> <td>4,200</td> <td>156%</td> </tr> <tr> <td>資料相談件数</td> <td>445</td> <td>74</td> <td>900</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>読書通帳登録件数</td> <td>267</td> <td>45</td> <td>534</td> <td>53%</td> </tr> </tbody> </table> <p>*資料相談(資料紹介・調査回答)件数 分館での資料紹介件数は、一般と児童の合計数となるため、含まれていない。 *読書通帳登録件数は令和3年度までは2冊目以降も含まれる。令和4年度は1冊目のみの統計となる。</p>						4~9月	一か月当たり	年度末見込値	達成率	児童関連集会事業の参加者数	2,143	357	4,200	156%	資料相談件数	445	74	900	100%	読書通帳登録件数	267	45	534	53%
	4~9月	一か月当たり	年度末見込値	達成率																					
児童関連集会事業の参加者数	2,143	357	4,200	156%																					
資料相談件数	445	74	900	100%																					
読書通帳登録件数	267	45	534	53%																					
参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ・児童向け推せん図書リスト ・令和4年度(9月まで) 児童集会事業開催一覧 ・令和4年度上半期 児童調べもの事例 ・読書通帳広報用例 																								
参考数値	<<令和3年度>> ・児童関連集会事業参加者(全館) 延2,093人 ・資料相談件数(中央館児童カウンターで受けた資料紹介と調査回答) 853件 *分館での資料相談件数は、一般と児童の合計数となるため含まれていない。 ・読書通帳登録件数 636件、令和2-3年度累計 2,930件 <<市内小中学校児童生徒数>> ・令和4年度 12,145人 令和3年度 12,398人 令和2年度 12,813人 令和元年度 12,826人																								

図書館
自己評価

- ・お薦めの絵本やテーマ別資料の紹介を月ごとに行い、児童向け推せん図書リストを作成・館内で配布し、学校図書館へも配布した。
- ・読書通帳の登録件数については、積極的にツイッター等の広報や、学校でのよみきかせ時に周知を図ったことにより、目標の61%程度になる見込みである。
- ・集会事業については、令和4年度上半期は中止することなく開催できたため、前年度と比較して参加者数が増加した。新型コロナウイルスの感染状況により、参加人数の制限や事前受付の実施など、安全に配慮して開催した。開館状況が安定してきているため、年度末には目標の2,700人を大幅に超える見込みである。
- ・園・学校と連携し、感染予防対策を徹底した上で、よみきかせやストーリーテリング等のサービスを継続し、多くの子どもたちに直接サービスを届けることができた。
- ・カウンターでの資料相談については、大人からはよみきかせの相談、学年を特定してのおすすめの本等の問い合わせが多くみられた。年度末には概ね目標を達成する見込みである。
- ・指導課主催の市内小中学校司書の研修会に参加し、業務説明を行った。下半期には、ブックトーク研修として講師派遣をする予定である。
- ・学校で取り組んでいる調べ学習については、個々の学校に対して実施しているが、今後、学校司書とさらに連携を密にして支援を強化していく。
- ・ストーリーテリング等、館内での定期的な研修や、千葉県や国立国会図書館等外部で開催される研修への派遣を通して職員のスキルアップを図った。
- ・分館では、幼稚園・保育園・学校等へのサービスや「えほんのじかん」の実施などを通して、近隣の子どもたちが本に親しむ機会を作ることができた。

図書館協議会
委員欄

- ・「あなたのおすすめの本を教えてください」素晴らしい企画だった。また行ってほしい。展示の仕方も良かった。
- ・夏季に行われた読書感想文のイベントなどのように、ターゲットや目的がはっきりしている活動は、来館してもらうための良い取り組みだと思う。
- ・レコードコンサートも良い企画だった。師走ではない時期にまた行ってほしい。
- ・園や学校へのよみきかせなどが大幅に達成され、高く評価する。学校司書研修への参加、講師派遣など、学校図書館との連携、支援も評価する。さらなる強化を望む。
- ・活動の推進には、子ども達の心に残るサービス事業をすることにつきて思う。その意味で様々な団体と連携した企画や保護者へのサービスなど工夫されていることがとてもよい。
- ・読書通帳は、プレゼントを用意するなど頑張りを感ずる。
- ・読書通帳の普及率をさらに上げるには一層の工夫が必要であろうが、推進して行ってほしい。
- ・「子ども」の年齢区分を細分化し、取り組んだ推進内容を明確にしてはどうか。乳幼児、幼児、小学生低学年、高学年、中学生、高校生と区分する事で課題が明らかになるのでは。
- ・小学校の読み聞かせをする方々を対象にしたコンテスト（例えば、各小学校の児童を審査員として、読み聞かせが上手かった方々を選ぶ、とか）などを催し、児童が本に触れる機会を作る方々の育成やモチベーションを高める活動なども、結果的に児童が本を楽しめる環境をつくることに繋がると思う。

改善の
方向性

- ・市民参加型の展示を、今後も企画・実施していく。
- ・集会事業については、それぞれの年齢を考慮し、子どもたちが参加しやすく、心に残るような企画を引き続き検討していく。
- ・読書通帳の利用促進については、今後も児童が楽しみながら読書を続けていけるような取り組みを検討していく。
- ・対象年齢ごとの取り組みや課題について整理して、報告できるよう検討する。
- ・高校生については、青少年サービス担当と連携して取り組んでいく。
- ・子どもたちに本の楽しさを伝えるため、今後も学校・園との連携を強化し、図書館利用を促す。学校司書研修や、関係各課等への講師派遣を行い、子どもに本を手渡せる読書支援を継続していく。